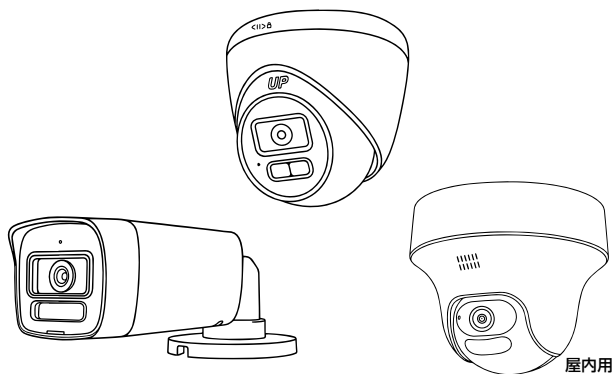


ハイブリッドライトFC Viewカメラ(双方向通話)



付属品

取付ネジ	3本
コンクリート用アンカー	3本
天井取付ベース	1枚 (バレット型には付属しません)
ドリルテンプレート紙	1枚
取扱説明書	1部

コンクリート面に取り付ける場合

コンクリート用アンカーボルトはあらかじめ設置場所にφ5.5mm程度の穴を開け、付属のアンカーを打ち込んでから取付ネジで取り付けてください。

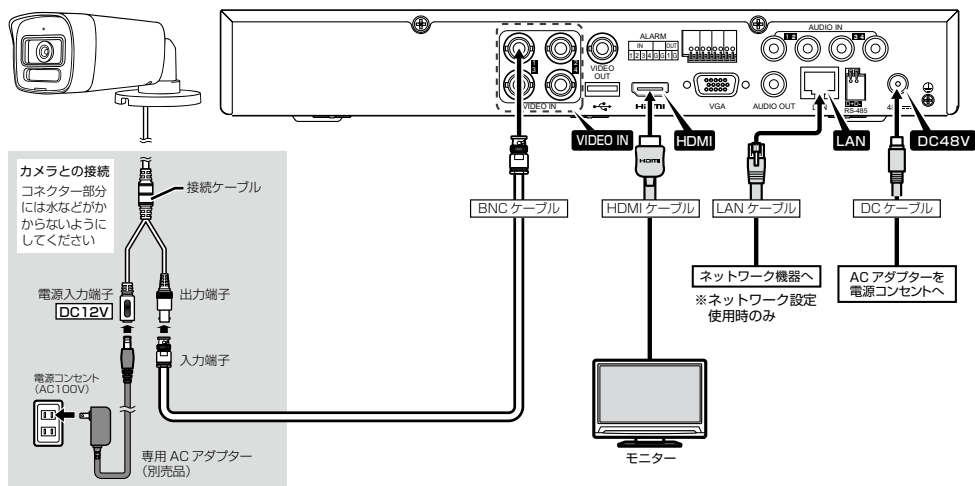
⚠ 注意

この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巢、強盗、変質者の侵入等の犯罪による損失、損傷等が発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

この度はお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みになり、内容に従って正しくお使いください。また、お読みになった後も本書を大切に保管してください。

接続の方法

レコーダー 入出力信号に適した端子にHD-TVIカメラやモニターなどの周辺機器を接続してください。



最大伝送可能距離 (使用するケーブルによって変動します)

ケーブル種類	S-5C-FB 5C-FB	5C-2V	3C-2V
伝送可能距離 (HD-TVI カメラの場合)	600m	500m	300m

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		水ぬれ禁止		機器の分解禁止		接触禁止		ぬれ手禁止		指示を守る
--	----------	--	----------	--	-------	--	---------	--	------	--	-------	--	-------

警告 誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの

異常があるときは、すぐに使用をやめる

- 次のような異常時は、放置せずに電源を切り、販売店・工事に連絡してください。
 - ◇煙がでる、においがする
 - ◇内部に水や物が入った
 - ◇画面が映らない
 - ◇接続ケーブルや外部が劣化
- ◇火災、感電、けが、故障の原因となります。

指定の電源電圧で使用する

- 必ずDC12Vで使用してください。
- 火災や感電の原因となります。

水でぬらさない (ドーム型カメラの場合)

- ◇水が入ったり、ぬれたりしないようにしてください。
- ◇火災、感電、故障の原因となります。

次の場所に設置しない

- ◇雨水などがかかる場所（ドーム型カメラの場合）
 - 故障の原因となります。
- ◇強度の不足する場所、不安定な場所
 - 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ◇人や車両の通行の妨げになる場所
 - ぶつかったり、接触してけがや破損の原因となります。
- ◇直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湿気やホコリの多い所
 - 火災や感電、故障の原因となります。
- ◇塩害や腐食性ガスが発生する場所
 - 取付部が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因となります。
- ◇可燃性ガスの雰囲気中
 - 爆発によるけがの原因となります。

指定以外の機器・アクセサリは使用しない

- 指定品を確かめ、使用機器の取扱説明書もよくお読みください。性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となります。

結露した状態で使用しない

- 故障の原因となります。
- 電源を止め、結露がとれた後に電源供給し直してください。

設置、点検時は次のことに注意する

- ◇設置・配線・点検時は電源を切ってから行なってください。感電やショート・誤配線による火災の原因となります。
- ◇足場と安全を確保し、強風、雨、嵐、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険です。設置工事や点検をしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
- ◇本体や部品、工具類を落としたり、強い衝撃を与えないでください。けがや故障の原因となります。ケーブル類は正しく配置してください。引っ掛けると落下や転倒によるけがや故障の原因となります。
- ◇組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力(トルク)指定がある場合は、その力(トルク)で締め付け、堅固に固定してください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ◇台風の後や積雪の後などは、取付装置に緩みや異常が生じることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご相談ください。そのままにすると破損して、けがや故障の原因となります。カメラや取付装置などに乗ったり、無理な力を加えないでください。落ちたりして、破損、けがの原因となります。

無理な力を加えたり傷つけない

- 接続ケーブルなどを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）、引っばったりしないでください。電源ケーブル、同軸ケーブルなどが傷んだときは（心線の露出、断線など）お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電などの原因となります。

ぬれた手でさわらない

- 感電の原因となります。

分解や改造はしない

- 内部の分解、改造や修理はしないでください。故障の原因となります。
- 内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談ください。

雷が鳴り出したら本機や接続ケーブルに触れない

- 感電の原因となります。

注意 誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの

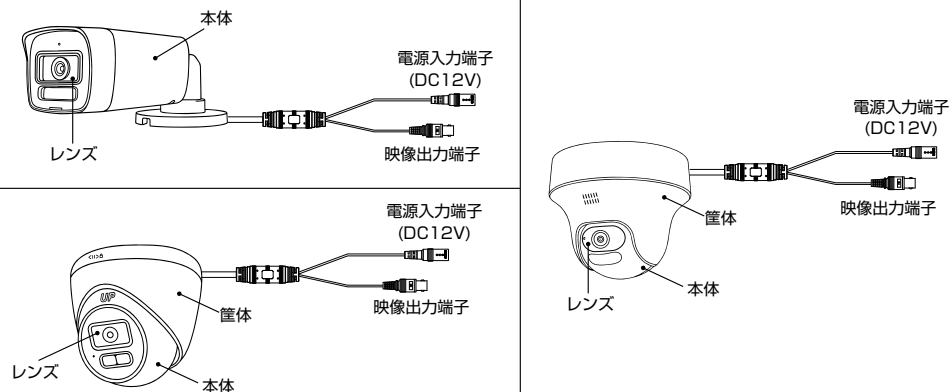
工事に関しては工事店などに依頼する

- 工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店や工事店にご依頼ください。
- 火災、感電、けが、故障の原因となります。

定期的に点検する

- 取り付けがゆるんだり、取付装置やネジがさびると、落下による破損、けがの原因となります。

各部の名称とはたらき

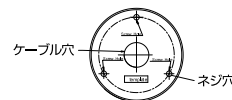


設置の方法

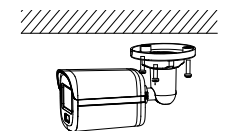
設置の前にカメラ本体が動作すること、すべての組み立て部品が同梱されていることを確認してください。カメラと取付プレートの3倍の重さに耐えられる天井・壁の強度を確認してください。

バレット型カメラ

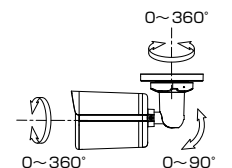
1. カメラを設置する場所にドリルテンプレートを貼り付けます。



2. セメント天井の場合、5.5mmのドリルでネジ穴を開け、付属のアンカーボルトを挿入します。



3. ケーブルを天井から通す場合はケーブル穴を開けてください。
4. ブラケットのネジ穴を天井に合わせ、付属のネジ3本で固定します。
5. 電源コードとビデオケーブルを接続します。
6. カメラの電源を入れ、映像が映ることを確認し、最適な角度にあわせませす。

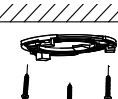


タレット型カメラ

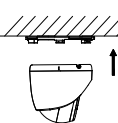
1. カメラを設置する場所にドリルテンプレートを貼り付けます。



2. 取付ベースを天井に取り付け付属のネジで固定します。



3. 取付ベースにカメラをはめ、時計方向に回してロックします。

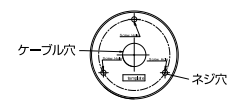


4. カメラの電源を入れ、映像が映ることを確認し、最適な角度にあわせませす。

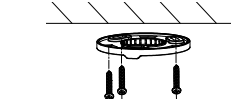


パンチルトカメラ

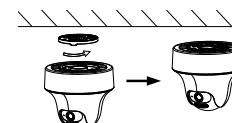
1. カメラを設置する場所にドリルテンプレートを貼り付けます。



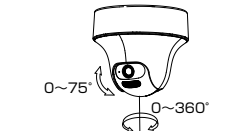
2. 取付ベースを天井に取り付け付属のネジで固定します。



3. 取付ベースにカメラをはめ、時計方向に回してロックします。



4. カメラの電源を入れ、映像が映ることを確認し、最適な角度にあわせませす。



本体や筐体の角度は手動で調整しないでください。レコーダのPTZ/パネルから、パン・チルト角度を調整してください。

PTZ 制御パネルでの操作

本製品はUTC (UpTheCoax)機能を搭載し、UTC機能対応の録画装置から遠隔接続によるOSDおよびレンズ操作を行います。下記手順は弊社レコーダーでの調整方法となります。また、操作に対応している映像信号は、HD-TVIとなります。

◀接続の方法は1ページをご覧ください

1.

設定を行うカメラのライブビューから「PTZコントロール」アイコンを選択するとPTZ画面が開きます。



2.

コントローラーの操作方法



1	メニュー	OSD メニューの表示
2	確定、Enter (メニュー時) + アイリス	
3	チルト角度調整 上下選択 (メニュー時)	
4	パン角度調整 左右選択 (メニュー時) ▶...数値を上げる ◀...数値を下げる	

OSD メニュー

■ メインメニュー

カメラを設置するにあたってUTC機能を利用し、カメラに接続したモニター上から、設定環境に応じて適切な設定を行う事が出来ます。

- OSD メニューを表示するために (メニュー)を押します。
- 上下選択ボタンで設定したい項目を選びます。
※ ◀ ▶ が表記されている場合は左右ボタンで選択できます。
※ ◀ 1 2 3 4 ▶ サブメニューがある場合は、決定ボタン (アイリス+)を押すとサブメニューを表示します。
- 設定を終了したいときはSAVE&EXITを選択し、決定ボタン (アイリス+)を押してください。

VIDEO FORMAT	◀3K20▶
EXPOSURE	↓
LIGHTING SETTING	↓
VIDEO SETTINGS	↓
AUDIO SETTINGS	↓
FACTORY DEFALT	↓
EXIT	↓
SAVE & EXIT	↓

VIDEO FORMAT : フレームレートの設定を行います。(3K25、3K20、3K12.5、3K10、4M30、4M25、2M30、2M25)

EXPOSURE : 周囲の明るさに応じて映像を一定の明るさに保つための露出設定を行います。

LIGHTING SETTING : 白色ライト、IRライト、スマート設定などライティングの設定を行います。

VIDEO SETTINGS : 各種映像調整を行います。

AUDIO SETTINGS : マイク及びスピーカー音声の調整を行います

FACTORY DEFALT : OSDメニューの設定を工場出荷時の状態に戻します。

EXIT : 設定を終了します。

■ EXPOSURE

VIDEO FORMAT	◀3K20▶
EXPOSURE	↓
LIGHTING SETTING	↓
VIDEO SETTINGS	↓
AUDIO SETTINGS	↓
FACTORY DEFALT	↓
EXIT	↓
SAVE & EXIT	↓

EXPOSURE	
EXPOSURE MODE	◀GLOBAL▶
AGC	◀MEDIUM▶
ANTI - BANDING	◀OFF▶
BACK	↓
EXIT	↓
SAVE & EXIT	↓

EXPOSURE MODE :

◀GLOBAL▶ : 通常モード ◀BLC▶ : 逆光補正機能 ◀HLC▶ : ハイライト補正機能

◀DWDR▶ : 白とび、黒つぶれを補正し、明るい場所と暗い場所が混在する映像を鮮明に映します。

◀HLS▶ : ハイライト抑制機能。画像内の明るさのしきい値を超える部分を黒くすることで画像全体が鮮明に映し出されます。

AGC : オートゲインコントロールのレベルを設定します。夜間など低照度環境下での撮影時に効果があり、設定を高くすれば映像は明るくなりますが、その分ノイズも増加するので必要に応じて調整してください。

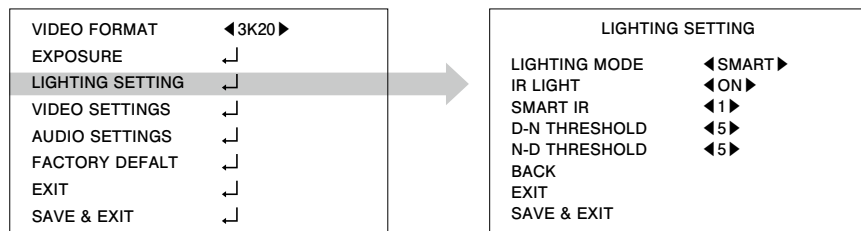
ANTI-BANDING : 低周波光や高輝度の環境で画像を撮影するときに水平線(バンディング)が発生しないようにする設定です。

BACK : メインメニューに戻ります。

EXIT : OSDメニューを閉じます。

SAVE&EXIT : 設定を保存してOSDメニューを閉じます。

■ LIGHTING SETTING



LIGHTING MODE：照明のモードの設定を行います。

◀SMART▶：スマートモード ◀IR▶：赤外線ライトモード ◀WHITE LIGHT▶：白色ライトモード

IR LIGHT：赤外線ライトを使用するか設定します。

◀ON▶：赤外線ライトを使用します。 ◀OFF▶：赤外線ライトを使用しません。

SMART IR：スマートライト(暗くなると自動点灯)のレベルを設定します。(0～3)

D-N THRESHOLD：暗くなる時に動作する感度を設定します。(1～9)

N-D THRESHOLD：明るくなる時に動作する感度を設定します。(1～9)

LIGHTING MODEが、「WHITE LIGHT」の場合、次の項目が設定できます。

WHITE LIGHT：白色ライトを使用するか設定します。

◀AUTO▶：白色ライトを使用します。 ◀OFF▶：白色ライトを使用しません。

↓
[AUTO]設定時、次の項目が設定できます。

THRESHOLD：しきい値。高く設定するほど、暗い環境に対するデバイスの感度が高くなります。(1～3)

LEVEL：補助光の最大輝度を調整できます。(1～5)

■ VIDEO SETTING

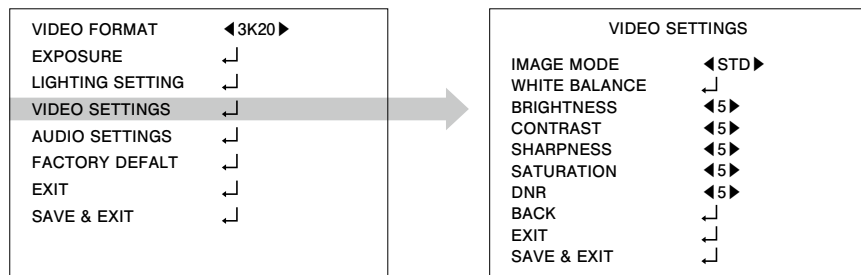


IMAGE MODE：画像の彩度を調整するための設定です。

◀STD▶：通常モード ◀HIGH-SAT▶：高彩度モード ◀HIGHLIGHT▶：室内で顔のディテールを鮮明にするモード

WHITE BALANCE：映像のホワイトバランスを設定します。(サブメニューに入ります。)

BRIGHTNESS：映像の明るさレベルを設定します。(1～9)

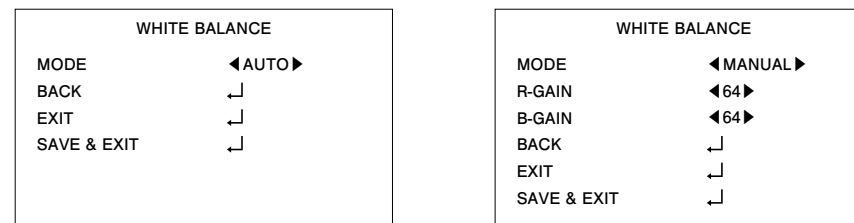
CONTRAST：明度の差を調節します。(1～9)

SHARPNESS：モニタ画面の輪郭を強調しシャープに見える補整を行います。(1～9)

SATURATION：彩度を調整します。(1～9)

DNR：デジタルノイズリダクションの設定を行います。(1～9)

— WHITE BALANCE



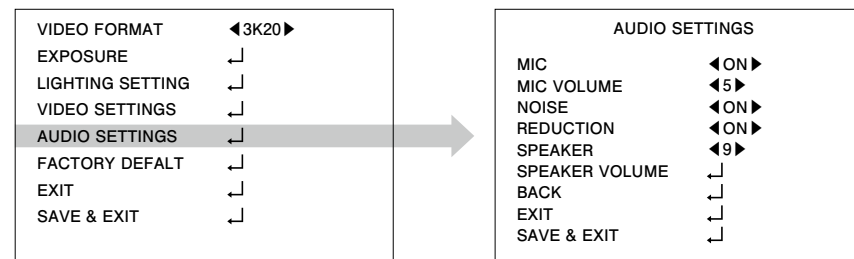
◀AUTO▶：自動モード

◀MANUAL▶：手動モード

R GAIN：赤ゲインを調整します。(1～255)

B GAIN：青ゲインを調整します。(1～255)

■ AUDIO SETTINGS



MIC：マイク音声を有効にするか設定します。

◀ON▶：マイク音声を使用します。 ◀OFF▶：マイク音声を使用しません。

MIC VOLUME：マイクの音量レベルを調整します。(1～9)

NOISE REDUCTION：音声のノイズを軽減できます。

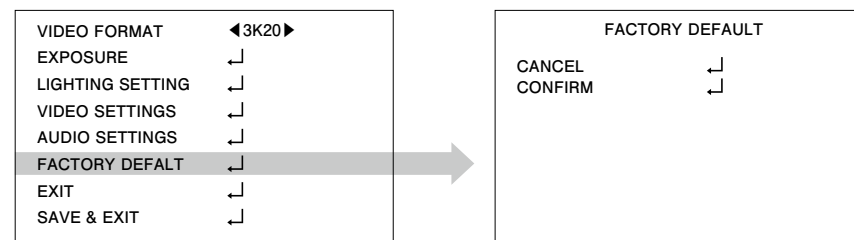
◀ON▶：音声ノイズを軽減します。 ◀OFF▶：音声ノイズを軽減しません。

SPEAKER：スピーカー機能のオンオフを設定します。

◀ON▶：スピーカーを使用する。 ◀OFF▶：スピーカーを使用しない。

SPEAKER VOLUME：スピーカーの音量レベルを調整します。(1～9)

■ FACTORY DEFAULT



FACTORY DEFAULT：OSDメニューの設定値を工場出荷状態にリセットします。

CANCEL：リセットしません。メインメニューに戻ります。

CONFIRM：工場出荷状態にリセットを実行します。

保証期間中に万が一故障した場合は、本保証書により無償修理いたします。

■保証期間内でも次の場合は有償となりますのでご了承ください

1. 弊社指定製品との組み合わせ以外で使用した場合に生じる故障および損傷
2. 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
3. 取り扱い上の不注意や誤った使用方法による故障および損傷
4. 天災や保管上の不注意による故障および損傷
5. お買い上げ後の輸送や移動時、落下などによる故障および損傷
6. 弊社以外の修理または改造による不具合
7. 保証書の提示がない場合。本書は、日本国内においてのみ有効です

保証書

型番			
お客様情報	お客様		
	様		
	ご住所	〒	
	TEL		
保証期間	ご購入日より 1年間 年 月 日		
販売店			